

(様式4)

水辺の里公園のびのびぷろじえくと ～集まれ！自然大好きわくわく探検隊～

1 事業の概要

・稲美町は、ため池や水路が多く緑が広がる自然豊かな農業中心の町である。町内には大小さまざまな形態の公園があるが、子ども達に自然体験や環境学習を提供できる場所や団体が限られている。

私ども NP0 法人環境ユースイングてんまは、唯一この課題を前向きに改善できる団体として稲美町の指定管理を受け、「いなみ野水辺の里公園」を拠点としてさまざまなイベントやセミナーを行って、自然の大切さ、生命の尊さ、人々の絆などを大切にして、地域が繋がっていく活動を行っている。

・今年度は、継続的な事業に加え園内で育てる綿を使った綿糸紡ぎの体験を加え、また、さらに多くの人が集まる魅力ある公園づくりに取り込みたいと考え、また、コロナと向き合い、安全に参加してもらえる with コロナ体制を万全にして事業を進めたいと考えている。

青年隊には、7月のセミの羽化学習会、9月のバッタとり大会、11月の綿糸紡ぎ体験教室、1月の冬の生きものさがし学習会の4事業に関わり、企画当初から過程の作業や準備を経てセミナー・イベント当日のメインを担当してほしい。

4事業のうち、バッタとり大会は、2種類のバッタを捕獲し、その大きさを競うもので、多くのバッタが育つように会場の草原づくりや他の場所からの収集も含まれる。

綿糸紡ぎは、園内で綿をそだてるために土づくりから種まき、収穫を経て、糸紡ぎを体験する。

冬の生きものさがしは、1年をかけて、幼虫の住処や越冬場所を整備し、様々な生きものがみられるようにする。また、見つけた生きものを図鑑で調べる手伝いを行う。

セミの羽化観察は、夜間となるが、明るいうちに集まり、セミの一生など勉強会も行うので事前に資料を作成し、当日は、土の中から出てくる幼虫をみつけたり、羽化の様子を説明する。

また、魅力ある公園づくりに関しては、あらゆる方面から分析し、無理難題でもなんでもいい、誰も考えつかないような奇抜なアイディア等提供してほしいと思っている。今年度は、実行までたどりつけないかもしれないが、設計図づくりの年度でもいいかなと思っている。(できることがあれば実行するつもり)

いずれも大勢の子どもたちとその家族が参加するイベント・セミナーで、生命や食や自然を愛する心を育み、参加者同士のつながりを深め、多くの方に水辺の里公園ファミリーになってもらえるようなイベントになれば大変うれしい。これらに大きく力を貸してほしい。



2 事業予定

5月	キックオフと第1回会議
6月初旬・下旬	第2回会議・第3回会議
7月	第1回全県交流会・第4回会議

7月31日 セミの羽化観察会
8月 第5回会議
9月18日 自然体験セミナー「それいけ！バッタとり大会」
10月 第6回会議
11月20日 「綿から糸をつくろう」
12月 第2回全県交流会
1月22日 「冬のいきものさがし」第7回会議
2月 活動報告会準備
3月 活動報告会

3 ふるさとづくり青年隊に望むこと

稲美町は、電車も高速道路もない不便なところです。しかし、緑がいっぱいで、風景が美しく、子育てには最適なところだと思います。こんな稲美町の魅力を大勢の人に発信していただきたいと思っています。

今回は、自然大好きわくわく冒険隊となって、ドキドキわくわくするようなアイデアをたくさん出してもらい、地元の大学生とボランティアと一緒に作り上げてほしいです。

そして水辺の里公園をもっと応援したくなったら、ぜひボランティア登録をしていただいて、私たちと一緒に活動してください。

4 連絡先

- (1) 団体名：NPO 法人環境ユースイングてんま（いなみ野水辺の里公園指定管理者）
- (2) 所在地：加古郡稲美町岡 1840-1
- (3) 連絡先：電話 079-497-9010 E-mail mizubenosato-i@bb.banban.jp
- (4) HP、SNS等：<https://ameblo.jp/mizubenosato>